

県内の事業所でワーク・ライフ・バランスを推進する元気
いっぱいリーダーの方にお話を伺いました。



日本ホワイトファーム株式会社

日本ハムグループの養鶏事業として、青森県横浜町、北海道網走市、北海道厚真町、宮崎県日向市で4事業場を展開。種鶏農場から処理工場までの一貫した生産体制を構築し、全国シェア8.8%を占める、年間5,900万羽の処理を行っています。

平成25年3月 「あおりワーク・ライフ・バランス推進企業」登録
平成25年6月 青森労働局「子育てサポート企業」認定(2回目)



日本ホワイトファーム株式会社
管理本部 課長代理

菊池 厚子 さん

Q. ワーク・ライフ・バランスについて、会社としての基本的な考えをお聞かせください

「従業員が真の幸せと生き甲斐を求める場として存在する」という企業理念の下、従業員が生涯を託すにふさわしい企業を目指しています。従業員一人ひとりが能力を精一杯発揮することが企業を成長させる。企業の力である従業員の活力を高める取組みの一つと考えています。

Q. 具体的な取組みについて教えてください

育児休業や配偶者出産休暇、子どもの看護休暇など、10年ほど前から制度の見直しに力を入れ、充実させてきました。

弊社の特徴は、法令の規定よりも幅を持たせているところです。例えば、3歳未満の子どもを養育している場合、1日の労働時間を短縮することができる育児短時間制度においては、小学校就学までとしています。特に必要と認められる場合は、小学1年生の末日まで延長することも可能です。

また、本来であれば2年間で消滅してしまう有給休暇ですが、最大40日間積み立て、必要な場合の休暇に充てることのできる保存有休制度も整えています。

Q. 従業員の反応はいかがですか？

当初、男性で育児休業を取得する人がおらず、従

業員の考え方などを把握するためにアンケート調査をしたことがあります。その際、取組みの周知徹底と推進に力を入れていく必要性を感じました。

現在は、社内研修などの機会を活用して周知に努めているほか、必要と思われる場合は、各部署の責任者を通して総務担当者が積極的に働きかけをしています。その甲斐あって、この5年間の育休取得者は男性が9名、女性が46名。ここ数年、出産を理由とした退職者はいません。復職の際には面談を行うなどして、スムーズに仕事を再開できる体制をとっています。

Q. ワーク・ライフ・バランス推進の意義についてお聞かせください

弊社では普段から、上司であっても役職ではなく「さん」付けで呼びあうことでコミュニケーションを図り、何でも相談しやすい職場づくりを心がけています。働きやすい職場環境や人間関係は高いモチベーションにつながり、生産性の向上に反映されていきます。その活力こそが企業を支えるものであり、成長のカギ。また、ワーク・ライフ・バランスを推進することは、優秀な人材の流出を防ぐと同時に、優秀な人材を獲得できる企業づくりだと考えています。

この取組みから生まれる活力を確かな品質へとつなげ、従業員が一丸となって社会への責任を果たしていきたいと考えています。